



日本陸水学会 第 83 回大会

岡山大会

プログラム

2018 年 10 月 5 日（金）～8 日（月）

岡山大学 創立五十周年記念館・環境理工学部

大会スケジュール

	時間		会場
10月5日（金）	13:00～17:00	公開講演会	岡山大学 創立五十周年記念館
10月6日（土）	9:00～12:00	エクスカーション	
	10:00～12:00	拡大幹事会	H会場
	13:30～15:00	英文編集委員会	B会場
	13:30～15:00	和文編集委員会	H会場
	13:30～15:00	企画委員会	I会場
	16:00～19:00	評議員会	B会場
	13:30～17:30	自由集会	E・F・G会場
10月7日（日）	9:00～15:30	課題講演	A・B・C会場
	9:00～12:15	一般講演（審査対象）	D会場
	9:00～18:00	企業展示	I会場
	13:00～14:30	ポスター発表	ポスター会場 (①・②・③)
	14:30～15:45	課題講演	A会場
	14:30～16:30	一般講演	B・C会場
	14:30～16:30	一般講演（審査対象）	D会場
	16:30～18:00	学会賞授与式・受賞講演	A会場
	18:00～20:00	懇親会	岡山大学南福利施設 (ピーチユニオン)
10月8日（月）	9:00～12:15	課題講演	A・B会場
	9:00～12:15	一般講演	C・D会場
	9:00～15:00	企業展示	I会場
	13:30～14:00	授賞式 優秀講演賞・優秀ポスター賞	A会場
	14:00～15:00	総会	A会場

会場案内図



<環境理工学部 会場案内>

A 会場：104 講義室

B 会場：201 講義室

C 会場：101 講義室

D 会場：202 講義室

E 会場・休憩室：105 講義室

F 会場・スタッフ控室：
106 講義室

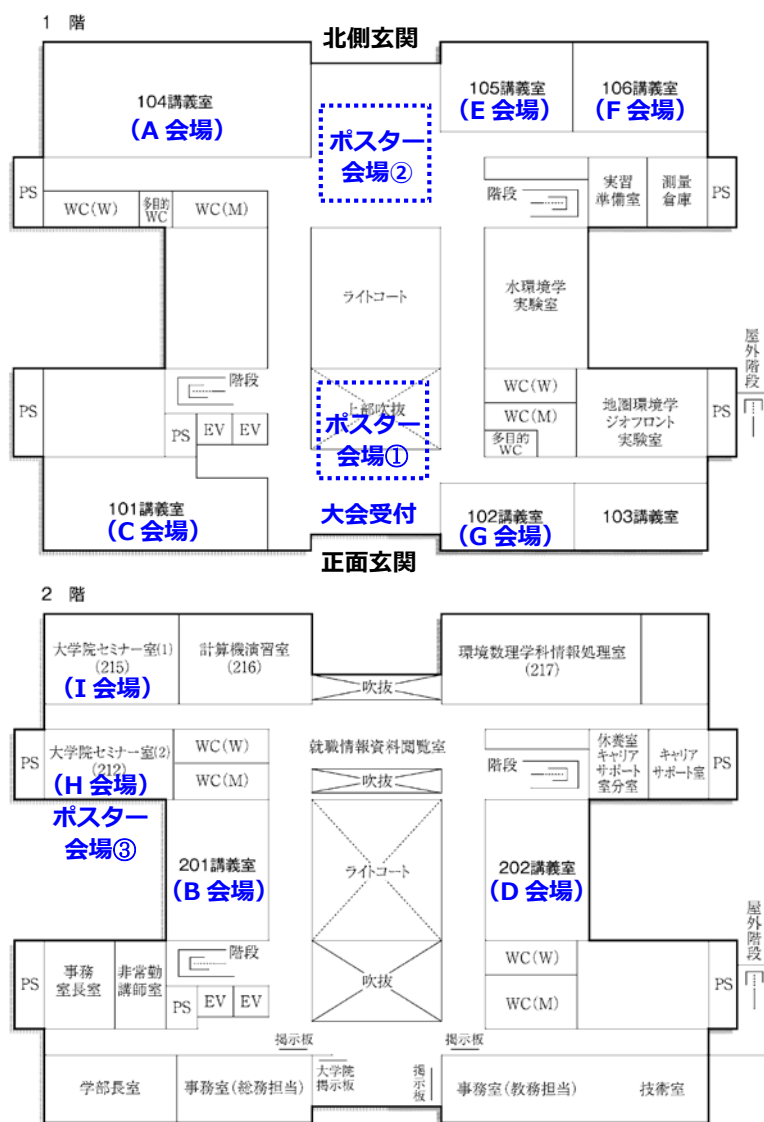
G 会場：102 講義室

H 会場：212 講義室

I 会場：215 講義室

ポスター会場 (①～③)：
1 階正面・北側玄関前・H 会場

幹事会控室：3 階 322 セミナー室



【参加者の皆様へ；お知らせとお願い】

日本陸水学会第 83 回大会（岡山大会）にご参加いただき、誠にありがとうございます。

大会 HP や ML 経由でお知らせしている通り、大会参加費、エクスカーショ参加費、懇親会参加費の早期割引料金の適用につきましては、「8 月 10 日（金）までに、Web での事前申し込みだけでなく、お振込みも終了していただく」ことが要件となります。

そのため、事前申し込みをいただいた方の中で、入金日が 8 月 10 日以降の方々におかれましては、学会期間中に、受付で追加の差額を徴収させていただきたく存じます。

大会の円滑な運営のため、皆様のご理解・ご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願いいたします。

JSLIM83 岡山大会実行委員長 大久保 賢治

【企業展示】

会場：環境理工学部 2 階 I 会場（215 講義室）

展示期間：10 月 7 日（日）－8 日（月）

参加企業・団体

環境システム株式会社

JFE アドバンテック

スリーエス・オーシャンネットワーク株式会社

ワイエスアイ・ナノテック株式会社

マイクロプロファイラー

次世代ー水質計自動昇降装置

【測定項目】

水温 電導度 pH-ORP 溶存酸素 濁度
クロロフィルa フィコエリスリン
アオコ（フィコシアニン）
塩素イオン 水中光量子 など 全 15 項目

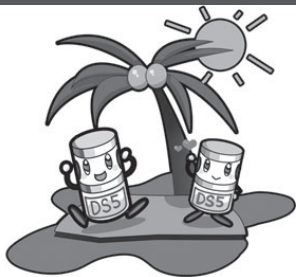
アオコやカビ臭問題
精度高い水質計測が
問題解決への近道です。

1 計測 10cm 毎 (5 データ) 最大 100m まで

【電源】

太陽電池 標準 200W 1 枚

www.hydrolab.co.jp/



sales@hydrolab.co.jp

環境システム株式会社

〒660-0083

兵庫県尼崎市道意町7-1-3ARICビル624号

電話 06-6657-5130 FAX 06-6657-5131

燐光式DOセンサー **RINKO®**

当社独自開発の光学式DOセンサーにより、フィールドでの水質測定が大きく前進します。RINKO®は90%応答時間が1秒以内という世界最高性能(2008年当社調べ)を有し、従来困難であったプロファイル観測や長期自動観測において高精度なデータが確実に得られます。

RINKO®の特長

☆レスポンスタイム(90%): 1秒以内※¹

☆高分解能:< 0.04%

☆酸素無消費検知方式: 攪拌不要

☆メンテナンス容易: 検知膜交換可能

☆キャリブレーション容易

☆メーカーサポート充実: 100%国産品

☆JIS K 0102 に準拠※²

※¹: ARO-PR, RINKO W除く

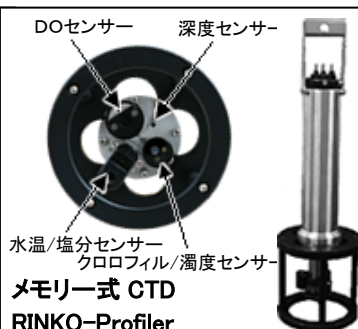
※²: 有線式センサー除く



ワイパー式メモリーDO計
RINKO W



小径プローブDO計
ARO-PR



メモリー式CTD
RINKO-Profiler



直読式総合水質計
AAQ-RINKO



小型メモリーDO計
RINKO I/ID



有線式DOセンサー
RINKO II/ID



アナログ出力DOセンサー
(耐圧 7,000m)
RINKO III



JFE アドバンテック 海洋・河川事業部

URL <http://www.jfe-advantech.co.jp/>

本 社 〒663-8202 兵庫県西宮市高畑町 3-48

TEL.0798-66-1783 FAX.0798-66-1654

東京本社 〒111-0051 東京都台東区蔵前 2-17-4JFE 蔵前ビル 2F

TEL.03-5825-5589 FAX.03-5825-5591

東北支店 〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町 1-3-1TMビル 2F

TEL.022-711-7535 FAX.022-711-7534

e-mail ocean@jfe-advantech.co.jp(大阪営業部) ocean-tokyo@jfe-advantech.co.jp(東京営業部)



沿岸、湖、河川で連続水質分析データ観測、データはPC、iPhone などへ転送

W I Z 水質分析現場プローブ



観測対象例

- ・アンモニア (N-NH3)
- ・オルトリン酸塩(P-PO4)
- ・硝酸塩 + 亜硝酸塩 N-(NO3+NO2)
- ・硝酸塩 (N-NO2)
- ・全リン酸 (P)
- ・全窒素 (N)
- ・化学的酸素要求量/全有機体炭素量 (COD/TOC)
- ・生物化学的酸素要求量 (BOD)
- ・濁度/全浮遊物質量 (TSS)
- ・Cr6+/Fe2+/Ni2+/Cu2+/Zn2+ など



スリーエス・オーシャンネットワーク株式会社

〒136-0073 東京都江東区北砂4-19-30-1119

TEL: 03-3646-6692 FAX: 03-3646-6732

e-mail: sales@3s-ocean.com URL: <http://www.3s-ocean.co.jp>

～ ハンディメータから AUV まで ～

AUV (自律式水中航行体)

ECOMAPPER AUV

i3XO Eco Mapper / Autonomous Underwater

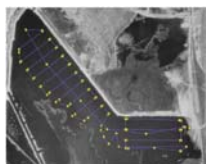


予め設定した航行プランで水中自律航行を行い、

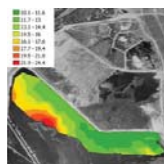
- ・多項目水質マッピング
 - ・高解像水底地形探査
 - ・3D 流速分布プロファイル、デジタルビデオ映像 等
- 多くの情報を得ることができます。



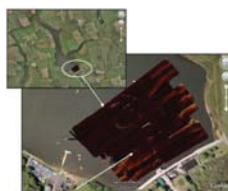
大変、小型です



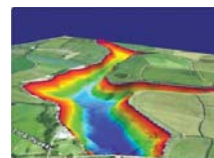
航路設定 PC 画面



水質マッピング



サイドスキャン地形



マルチビームスキャン地形

3次元流向・流速/地形探査装置-River Surveyor

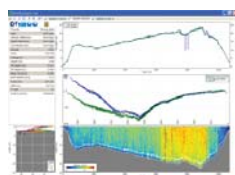


River Surveyor センサ部

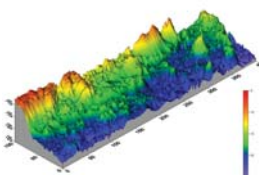
- ・3種の周波数(0.5/1/3MHz)超音波による、流速分布・地形探査の次世代メソッド
- ・RTKGPS とのシステム連動にて高精度な流速、地形、流量計測を実現します。



トリマランによる曳航計測



断面流速・地形データ



3D ボトム地形解析

GPS 搭載・メモリ式 CTD 計 CastAway!

- ・ハンドサイズの超小型 CTD
- ・業界初! GPS をビルトイン
- ・Bluetooth データ転送



重量
わずか 450g



スタイラスペンでスタート
GPS 測位後、CastAway!

ハンディ多項目水質計 Pro DSS



ケーブル長最大 100m!



多項目センサヘッド

水温・電導度・塩分・蛍光式 DO
pH・ORP・濁度・クロロフィル・シアノバク
テリア・NH4-N・NO3-N・CL-

多項目水質計 EXO シリーズ

- ・メモリー観測、直読観測のハイブリッドな使用が可能!
- ・電極自動洗浄ワイパ搭載



水温・電導度・塩分

蛍光式 DO・pH・ORP

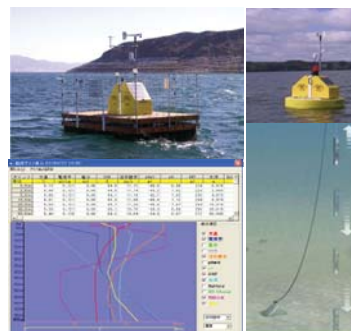
濁度・クロロフィル

アオコ(シアノバクテリア)

NH4- ・ NO3- ・ CL-

鉛直水質プロファイラー VPS シリーズ

- ・多項目水質計を自動昇降し、リアルタイムにデータ伝送
- ・世界最小/最軽量クラス
- ・電源はソーラパネルで OK!



ワイエスアイ・ナノテック株式会社

〒210-0023 川崎市川崎区小川町14-19

TEL 044-222-0009

FAX 044-222-1102

www.xylem-analytics.jp

xylem
Let's Solve Water

ロギング機能内蔵水位計 CRS45X シリーズ



CRS45X は川底に設置するだけで水位の計測が可能です。
データはセンサーに蓄積され、PC で回収します。
電池寿命は 5 年間なので長期間の観測にも適しています。

レーダー式水位計 CS475



CS475 はレーダー式の水位計です。センサーから発せられたマイクロ波が水面に当たり、跳ね返ってくるまでの時間をもとに水位を計測します。センサー自体は水面上に設置するため、大雨時の増水による川への流入物、水質汚濁による影響を受けません。また、メンテナンスアクセスも容易です。計測値はデータロガーで記録します。

自動採水器 PVS5120C/D



PVS5120C/D はポータブル型の自動採水器です。
タイマー設定による自動採水はもちろん、キャンベル社データロガーを組み合わせることにより、水質の変化（濁度、PH、溶存酸素等）、自然環境の変化（気温、降水等）が発生した際に、採水を行うことが可能です。最大で 1L×24 回の採水に対応しております。
最大のメリットは、専用真空式ポンプの採用により、従来の採水器と比較して、ほぼメンテナンスフリーで採水能力が持続します。

PONSEL 各種水質センサー



フランスに本社を置く AQUALABO 社の PONSEL シリーズは、屋外での水質計測に特化したセンサーを多種取り揃えております。海外では河川管理、湖沼管理、養殖産業、海洋調査他、多くのフィールドで採用実績がございます。
計測項目は溶存酸素、PH、ORP、だく度、電気伝導度をはじめ、多くの計測項目を網羅しております。
センサー毎に計測項目が異なっており、ご希望の計測項目に適したセンサーを選択できます。
また、多項目を同時に計測できるセンサーもございます。
センサーは全てデジタル出力（SDI-12/RS-485）で、データロガーで記録、制御を行います。
キャンベル社のデータロガーと組み合わせることにより、よりフレキシブルな条件下での計測が可能になります。
PONSEL センサーでの計測をより容易に導入するために、携帯型のハンディディスプレイをご使用頂くことで、計測値をリアルタイムで表示、記録することが可能です。
センサーはいずれも低消費電力のため、商用電源が使用できない環境でも、ソーラーパネルによる運用で、長期間の定点計測が可能です。

お問い合わせ先は

キャンベル社 センテック社 日本総代理店

2018/10/15 より新社屋に移転します！



太陽計器株式会社

[http:// www.taiyokeiki.co.jp](http://www.taiyokeiki.co.jp)

〒335-0015

埼玉県戸田市市川岸 3-2-5

NK ビル戸田公園

E-mail: info_csi@taiyokeiki.co.jp

【発表者・座長の方へ】

1. 口頭発表

- 1) 一般講演での口頭発表時間は、発表 12 分、質疑応答 3 分の合計 15 分です。
- 2) 口頭発表では、液晶プロジェクターをご利用いただきます。液晶プロジェクターは、Microsoft PowerPoint 2013 または 2016 および Adobe Acrobat Reader を備えた Windows パソコンに接続します。演者は PowerPoint のファイルもしくは PDF ファイルに講演者名を付けて、USB メモリーまたは CD-R に保存してお持ち下さい。ファイルは事前に各会場受付でお預かりすることになります。Macintosh 等をご使用の方で PowerPoint を利用される場合は、Windows 版 Microsoft PowerPoint 2013 または 2016 で予め動作確認したファイルをお持ち下さい。
- 3) 容量が極端に大きい PowerPoint ファイルは、表示に時間がかかるなど、不具合の原因となりますので、ファイル容量は必ず 10MB 未満にして下さい。
- 4) 一般講演の講演者は、発表のファイルの入った USB メモリーまたは CD-R を、各セッション開始 30 分前までに各講演会場受付にお渡し下さい。
- 5) 課題講演の講演者は、発表ファイルを事前にコンビーナーにお渡し下さい。
- 6) 課題講演以外の一般講演の座長については、講演が終わった方が次の講演者の座長をご担当ください。なお、セッションの最初の講演者の座長は、セッションの最後の講演者がご担当ください。

2. ポスター発表

- 1) ポスターパネルの大きさは、幅 90cm×高さ 210cm です。このサイズの範囲内でポスターをご作成ください。
- 2) 当日は、プログラムでご自身の発表番号（P-O）を確認の上、各自、割り当てられているパネルにポスターの掲示をお願いします（ポスターの撤去時間については、当日会場にてご案内します）。

3. 口頭発表賞・ポスター発表賞

1) 優秀口頭発表賞

口頭発表に関する質の向上と若手研究者の学会発表に対する意欲向上のため、優秀な口頭発表に対して日本陸水学会より賞を授与します。審査の対象になるのは、若手会員（大会開始 2 週間前の時点で学生会員もしくは最終学歴後 5 年以内の会員）による一般講演、課題講演および英語セッションでの発表のうち、審査を希望した発表に限ります。なお、本大会よりこれまでの最優秀口頭発表賞 1 名、優秀口頭発表賞若干名に加え、修士課程学生および学部学生を審査対象とした優秀口頭発表賞（未来開拓枠）若干名を選考いたします。

2) 優秀ポスター発表賞

ポスター発表に関する質の向上と若手研究者の学会発表に対する意欲向上のため、優秀なポスター発表に対して日本陸水学会より賞を授与します。審査の対象になるのは、若手会員（大会開始 2 週間前の時点で学生会員もしくは最終学歴後 5 年以内の会員）による発表のうち、審査を希望した発表に限ります。なお、本大会よりこれまでの最優秀ポスター賞 1 名、優秀ポスター賞若干名に加え、修士課程学生および学部学生を審査対象とした優秀ポスター賞（未来開拓枠）若干名を選考いたします。

賞の詳細に関しては日本陸水学会ホームページに掲載の優秀口頭発表賞選考内規 (http://www.jslim.jp/?page_id=1891) をご覧ください。

第1日目（10月5日 金曜日）

会場	岡山大学創立五十周年記念館 金光ホール（1F）
テーマ	日本陸水学会公開講演会 「瀬戸内海から考える陸水研究の将来」
開始時間	
13:00	開会挨拶 中野伸一（京都大学生態学研究センター・日本陸水学会長）
13:05	東日本大震災と河口干潟の保全 *占部城太郎（東北大・院生命科学）
13:35	塩湖の化学環境 –現状と将来– *杉山雅人（京都大・院人間・環境）, 望月陽人（京都大・院人間・環境）
14:10	森里川海をつなぐ里海づくり *田中丈裕（NPO 里海研）
14:40	瀬戸内海の浮遊・漂着・海底ゴミの挙動 *柳 哲雄（国際 EMECS センター）
15:10	瀬戸内海的环境管理からみた陸水問題 *松田 治（広島大・名誉教授）
15:40	（休憩）
15:50	総合討論 司会：中野伸一（京都大学生態学研究センター・日本陸水学会長）
16:50	閉会挨拶 大久保賢治（岡山大学大学院環境生命科学研究科・大会実行委員長）

第2日目（10月6日 土曜日）

開始時間	エクスカーション「アユモドキの保全活動と企業の環境への取り組み事例の紹介」 (雨天決行)
9:00	岡山大学環境理工学部正面玄関前集合
9:15	出発
9:45	キリン岡山工場着
10:00	工場見学（アユモドキの飼育展示・アユモドキビオトープの見学・キリン工場見学と環境への取り組み）
11:30	岡山工場発
12:00	岡山大学到着

開始時間	各種委員会	会場
10:00	拡大幹事会 (10:00～12:00)	H 会場
13:30	和文編集委員会 (13:30～15:00)	H 会場
13:30	英文編集委員会 (13:30～15:00)	B 会場
13:30	企画委員会 (13:30～15:00)	I 会場
16:00	評議員会 (16:00～19:00)	B 会場

開始時間	自由集会	会場
14:00	1.『森・川・海と里のつながり』 企画者：大西健夫（岐阜大学）・山下 洋（京都大学）・吉岡崇仁（京都大学）・杉本亮（福井県立大学） 14:00～ 主旨説明 14:05～ 長尾誠也ほか（金沢大）：熊木川から七尾西湾への有機物の移行動態 14:25～ 渡辺謙太（港湾空港技術研究所）：由良川河口域・丹後海の栄養塩動態と基礎生産 14:45～ 笠井亮秀（北大）：河川の恵みを巧みに利用する沿岸魚スズキ 15:05～ 杉本 亮（福井県大）：国東半島窒素飽和・栄養塩 15:25～ 休憩 15:40～ 吉岡崇仁（京大）：森林流域に関する社会調査 16:00～ 山下 洋（京大）：大分県国東半島宇佐地域2河川の魚類生産力の比較	E 会場

	16:20～ 山下 洋（京大）：森里海連環再生のための Link Again Project 16:40～ 総合討論	
13:30	2.『陸水物理研究会』 企画者：北岡豪一（岡山理科大学）・知北和久（北海道大学）	G 会場
13:30	4.『日本陸水学会若手の会』 企画者：大竹裕里恵（東京大学）・丸岡奈津美（東北大学）・永田広大（東京大学） 13:30～ 企画説明 13:45～15:30 頃 発表（敬称略） 1. 大竹裕里恵（東大・D1）「ミジンコ 時を超えた遭遇：湖沼堆積物が教えてくれること」 2. 坂田雅之（神戸大・D1）「堆積物由来環境 DNA 抽出法の改善」 3. 刘鑫（滋賀県立大・PD）「琵琶湖北湖における正リン酸の時空間分布」 4. 山口保彦（滋賀県琵琶湖環境科学研究センター・研究員）「湖と海の有機物動態の比較」 5. 永田広大（東大・D1）「溪流の落葉破碎食昆虫における密度－面積関係の形成機構」 6. 土屋健司（国立環境研究所・PD）「琵琶湖のバクテリア生産：30 年間の変化」 7. 岡崎友輔（産業技術総合研究所・PD）「湖の微生物生態学—その面白さと可能性」 8. 鏡味麻衣子（横浜国立大・教授）「Mycoloop の先へ：これから挑戦したいこと」 9. 吉田丈人（地球研/東大・准教授）「陸水学に、なぜ人の研究が必要か？」 15:30 頃～ 全体討論/まとめ * 各発表の後に質疑の時間を 5 分～10 分程設けます。 時間に余裕が御座いましたら飛び入りの方の発表も承る予定です。	F 会場

第3日目（10月7日 日曜日） 午前

開始時間	A 会場 （環境理工学部 104 講義室） 課題講演 T-2 「陸水を介した森・川・海のつながり（2） －流域における陸水と生態系サービス－」
9:00	コンビナー：大西健夫（岐阜大学）・吉岡崇仁（京都大学）・杉本亮（福井県立大学） 3A01 小浜湾流域における森から海までの物質動態 *杉本亮（福井県大・海洋生資）
9:15	3A02 森里海連環学の取り組み－由良川プロジェクト－ *吉岡崇仁・京都大学フィールド科学教育研究センター木文化由良川 プロジェクトメンバー（京大フィールド研）
9:30	3A03 由良川流域における河川水中の養分物質濃度の規定要因 *福島慶太郎（京大生態研）・福崎康司・日高渉（京大院・農）・白澤紘明 （信州大・農）・向昌宏・徳地直子・吉岡崇仁（京大フィールド研）
9:45	3A04 穴道湖周辺小河川からの負荷流入 *宗村広昭（岡山大学・環境生命科学研究科）
10:00	3A05 別府市内の温泉利用が河川や沿岸生態系に及ぼす影響について *山田誠（龍谷大・経済）・小路淳（広島大・生物圏科学）・杉本亮（福井県 立大・海洋生物資源）・大沢信二（京都大・地球熱学）
10:15	3A06 熱帯・亜熱帯島嶼地域における統合的水循環管理の在り方について *安元純・野崎真司・Bam HN Razafindrabe（琉球大・農）・中屋眞司 （信州大・工）・土岐知弘・新城竜一（琉球大・理）・安元剛（北里大・海 洋生命）
10:30	3A07 森川里海のつながり：国内外の研究動向～GLP アジア会議 2018 より *柴田英昭（北海道大学・北方生物圏セ）
10:45	3A08 流域の生物生産性はどのように生み出されるのか （なぜそんなにカニが）？：リン酸産生仮説 *楊 宗興・永田光陽・福元大地・中野正隆・笹 孝明・武井 六華 （東京農工大学）
11:00	3A09 土地利用変化および気候変動が伊勢湾流域圏の水文・水質変動に与える影響 の評価 *大西健夫・吉野純・平松研（岐阜大学）・宗村広昭（岡山大学）

開始時間	B会場 (環境理工学部 201 講義室) 課題講演 T-3「生態系の実験場 ～南極湖沼とその集水域での生物と物質循環～」
9:00	コンビーナー：工藤栄・田邊優貴子(国立極地研究所) 3B01 生態系の実験場：南極湖沼とその集水域趣旨説明 *田邊優貴子(極地研)・工藤 栄(極地研)
9:15	3B02 南極から基礎湖沼学研究のオモシロさを学ぶ *工藤 栄(極地研)・田邊優貴子(極地研)・柴田大輔(筑波大)
9:30	3B03* 東南極・宗谷海岸露岩域における溶存有機物の特性評価 *木田森丸(神大・農)・小島汰一(神大・農)・田邊優貴子(極地研)・ 林健太郎(農研機構)・工藤栄(極地研)・眞家永光(北里大・獣医)・ 藤嶽暢英(神大・農)
9:45	3B04 水中探査機(ROV)を用いた南極湖沼でのベントス生態系のマッピングに資する技術 *後藤慎平(東京海洋大)・工藤栄・田邊優貴子(国立極地研究所)・香月興太(島根大)・柴田大輔(筑波大)・Rachel Rudd(The University of Adelaide)
10:00	3B05 南極湖底堆積物の窒素代謝を探る *林健太郎(農研機構・農環セ), 田邊優貴子(極地研, 総研大)・藤嶽暢英(神戸大・農学), 木田森丸(神戸大・農学)・早津雅仁(農研機構・農環セ), 工藤栄(極地研, 総研大)
10:15	3B06 南極湖底生物群集の光合成の季節変化、および湖底堆積物による湖沼誕生年代の解明に向けた研究 *田邊優貴子(極地研)・國分瓦彦(極地研)・林健太郎(農研機構)・ 木田森丸(神戸大・農)・菅沼悠介(極地研)・香月興太(島根大・エスチュアリ)・川又基人(総研大・複合)・柴田大輔(筑波大・下田)・藤嶽暢英(神戸大・農)・工藤栄(極地研)

開始時間	B会場 (環境理工学部 201 講義室) 課題講演 T-6「閉塞塩湖の陸水科学過程」
	コンピーナー：杉山雅人(京都大学人間・環境学研究科)・ 程木義邦(京都大学生態学研究センター)
10:30	3B07 全球陸域水循環解析におけるイシククル湖集水域の水収支とその将来変化 *田中賢治・塩尻大也(京大院工)・Khujanazarov Temur(京大防災研)
10:45	3B08* 河川・地下水の流入負荷を考慮した塩湖の物質収支-イシククル湖を事例に- *齋藤圭(法政大学大学院)・大久保賢治(岡山大学大学院・環境生命科学)・Satylkanov, Rysbek(Tien-Shan High Mountain Research Center)・小寺浩二(法政大学・地理)・前壺英明(法政大学・地理)
11:00	3B09 環流場におけるクロロフィル分布 *岩田徹・亀井亮佑(岡山大学・環)
11:15	3B10 湖面浮力束に駆動される環流の流速とその構造 *大久保賢治(岡山大学・環)・Rysbek Satylkanov(Tien-Shan High Mountain Scientific Centre)
11:30	3B11 夏季成層期におけるイシク・クル湖の微生物相 *程木義邦・中野伸一・Mukherjee, Indranil(京大・生態研)・岡崎友輔(産総研)・齋藤圭(法大・人文・地理)・大久保賢治(岡山大学・環)・Satylkanov, Rysbek(Tien-Shan High Mountain Research Center)・朴紫暎・杉山雅人(京大院人間環境)
11:45	3B12 強塩基性・高アルカリ度な閉塞塩湖の化学過程 *杉山雅人・望月陽人・朴紫暎(京大院人間環境)

第3日目(10月7日 日曜日) 午前

開始時間	C会場 (環境理工学部 101 講義室) 課題講演 T-5「先端技術でひも解く湖の物理・化学・生物プロセス」
	コンビナー：岡崎友輔(産業技術総合研究所生物プロセス研究部門)・山口保彦(滋賀県琵琶湖環境科学研究センター)・大八木英夫(日本大学文理学部)
9:00	3C01 ROVを用いた水中の地物・地形測量 *田林雄(関東学院大)・小室隆(山口大)
9:15	3C02 Acoustic Tomography in the North Basin of Lake Biwa *WELLS, John C.(立命館大・理工)・黄千芬(国立台北大学)・内田啓貴・大原丈昇・大久保賢治(岡山大学)・井上栄壮(琵琶湖環境科学研究センター)
9:30	3C03 倶多楽湖における深層の溶存酸素の経時的变化と湖水鉛直循環速度について *大八木英夫(日大)・知北和久(北大)
9:45	3C04 全有機炭素検出器を用いたサイズ排除クロマトグラフィーによる溶存有機物の分子サイズ分析と特性評価 *霜鳥孝一・今井章雄(国環研)・佐藤貴之(福島県環境創造センター)・小松一弘・高津文人(国環研)・川崎伸之(UNISEL)
10:00	3C05 有機化合物レベル窒素同位体比分析で探る懸濁態粒子状有機物の分解過程と組成 *山口保彦(琵琶湖研セ)
10:15	3C06 放射性同位体を用いない細菌生産測定法の開発と応用 *土屋健司・佐野友春・富岡典子・高津文人・小松一弘・三浦真吾・今井章雄(国立環境研究所)
10:30	3C07 メタゲノム解析で明らかにする湖の微生物生態系 *岡崎友輔(産総研・生物プロセス)
10:45	3C08 年縞堆積物を用いた過去の植物プランクトン群集構造の復元の試み *木村成子(滋賀県大・環境)・大竹裕里恵(東大・総合文化)・大槻 朝・占部城太郎(東北大・生命)・吉田天士・左子芳彦(京大・農)・山田和芳(ふじのくに地環史博)・田辺祥子(滋賀県大・環境)・吉田丈人(東大・総合文化)
11:00	総合討論 岡崎友輔(産総研・生物プロセス)、山口保彦(琵琶湖研セ)、大八木英夫(日大)

第3日目(10月7日 日曜日) 午前

開始時間	D会場 (環境理工学部 202 講義室) 一般講演「優秀講演賞審査対象」
9:00	3D01 溪流の落葉破碎食昆虫における密度-面積関係を形成する捕食リスクの効果 *永田広大・加賀谷隆(東京大学大学院・農学生命科学)
9:15	3D02 オナシカワゲラ属種の分布と水質の関連 *池上涼太(北九州市立大・国際環境工学研究科)
9:30	3D03 中国地方東部の大規模河川における優占魚類の分布様式の比較 *岡崎拓也・亀崎直樹(岡山理大・生地)
9:45	3D04 時間調整(休憩)
10:00	3D05 灌漑による水利用の多い河川の河口堰上流に存在する植物プランクトンの一次生産 *森貞里咲(香川大院・農)・野崎健太郎(椙山女大・教)・山田佳裕(香川大・農)
10:15	3D06 フィルター法によるDNA抽出とリアルタイムPCRを用いる琵琶湖北湖における珪藻類などの動態解析 *藤井しおり・比嘉良太・藤井一輝・柄谷肇(京工繊大・工芸)・水口裕尊・布施泰朗(京工繊大・環境科学セ)・山田悦(京工繊大)・石川可奈子・岡本高弘・早川和秀(琵琶湖環研)
10:30	3D07 堆積物由来環境DNA抽出法の改善と過去復元への展望 *坂田雅之・源利文(神戸大・院・発達)
10:45	3D08 生分解実験による琵琶湖北湖深層水における植物プランクトン由来粒子状有機物質の動態解析 *中屋慎司(京工繊大院・工芸)・水口裕尊・布施泰朗(京工繊大・環境科学セ)・山田悦(京工繊大)・山本春樹・岡本高弘・早川和秀(滋賀県琵琶湖環研)
11:00	3D09 二次元電気泳動及びMALDI-TOF-MSを用いた琵琶湖水中溶存タンパク質の特性と動態解析 *比嘉良太・藤井しおり・藤井一輝・柄谷肇(京工繊大院・工芸)・水口裕尊・布施泰朗(京工繊大・環境科学セ)・山田悦(京工繊大)・岡本高弘・早川和秀(琵琶湖環研)
11:15	3D10 琵琶湖北湖湖底環境シミュレーション実験による底質-湖水間の溶存有機物質の動態解析 *藤井一輝・菅井良紀(京工繊大院・工芸)・布施泰朗(京工繊大・環境科学セ)・山田悦(京工繊大)・山本春樹・岡本高弘・早川和秀(琵琶湖環研)
11:30	3D11 Py-GC/MSを用いる琵琶湖北湖深層水における溶存有機物質の化学特性解析 *佐藤翔太(京工繊大院・工芸)・布施泰朗(京工繊大・環境科学セ)・山田悦(京工繊大)・山本春樹・岡本高弘・早川和秀(琵琶湖環研)
11:45	3D12 長崎県島嶼における水環境の地域特性 *矢巻剛・猪狩彬寛・浅見和希(法政大・院)・小寺浩二(法政大・地理)・堀内雅生(法政大・学)

第3日目（10月7日 日曜日） 午後（13：00～14：30）

開始時間	G 会場 （環境理工学部 102 講義室） 自由集会 3.『高校生ポスターセッション』
13:00	企画者：管原庄吾（島根大学）・井上徹教（港湾空港技術研究所）・ 片桐浩司（秋田県立大学） （発表者） 秋田県立秋田中央高等学校 2 件 秋田県立大曲農業高等学校 1 件 岡山県立倉敷天城高等学校 1 件 兵庫県立尼崎小田高等学校 1 件 兵庫県立加古川東高等学校 1 件

発表番号	ポスター会場①(1階正面玄関前) ポスター発表(ポスター賞審査対象含む)
P-1	【Keyword: 地下水・温泉・火山・水収支】 西条平野における中小河川の物質循環と水の起源 *徳増実(愛媛大院・連合農)・山田佳裕(香川大・農)
P-2*	ラドン曳航観測データを用いた別府湾沿岸域の海底温泉の検出 *岸田立(京都大・理)・本田尚美(福井県庁)・三島壮智(京都大・理)・杉本亮(福井県立大)・大沢信二(京都大・理)
P-3	真空抜気溶存ガス分析法の構築 *三島壮智(京都大・理)・網田和宏(秋田大・工)・大沢信二(京都大・理)
P-4*	御嶽山噴火(140927)前後の水環境の研究(2) *浅見和希・猪狩彬寛・矢巻剛(法政大・院)・堀内雅生(法政大・学)・小寺浩二(法政大・地理)
P-5*	浅間山・草津白根山の水環境と火山活動の影響 *猪狩彬寛・浅見和希・矢巻剛(法政大・院)・小寺浩二(法政大・地理)
P-6	箱根火山噴火(150629)後の水環境変化 *小寺浩二(法政大・地理)・堀内雅生(法政大・学)・浅見和希・猪狩彬寛・矢巻剛(法政大・院)
P-7	SWAT モデルを用いたブラジル・ティエテ川流域の水・物質動態解析 *清水裕太(農研機構西日本農研)・齋藤光代(岡山大)・小野寺真一・福岡正人(広島大)・Ricardo Hirata・Fernando Saraiva・Rafael Terada(サンパウロ大)
P-8	【Keyword: 沿岸・汽水域】 <i>Halophila</i> 属の分布に与える物理化学的条件 *井上徹教(港湾空港技術研究所)
P-9*	海産ヒゲユスリカ族 Tanytarsini の系統関係について *児玉敦也・河合幸一郎(広島大・生物圏)
P-10	北海道太平洋側の汽水域で一次生産が大きい条件は何か *鈴木啓明・木塚俊和(北海道立総合研究機構 環境科学研究センター)・真野修一・ト部浩一(北海道立総合研究機構 さけます・内水面水産試験場)
P-11	降河性魚類を介して陸域起源物質が海洋に局所的に分布する可能性 *鎌内宏光(地球研)
P-12*	宍道湖で発生した <i>Aphanizomenon</i> sp. によるアオコに関する研究 *加藤季晋・根 馨太・吉原 司・野尻由香里・神谷 宏・長岡克朗・松尾 豊・神門利之(島根県・保環研)・大谷修司(島根大・教育)
P-13*	宍道湖堆積物からの車軸藻類 DNA の抽出 *小室隆・後藤益滋(山口大院・創)・加藤季晋・嵯峨友樹・神谷宏(島根県)・山室真澄(東大院・新)・赤松良久(山口大院・創)

発表番号	ポスター会場③(H会場; 2階 212講義室) ポスター発表(ポスター賞審査対象含む)
P-14	【Keyword: 琵琶湖の一次生産、水質、底生動物】 琵琶湖北湖における一次生産速度の季節変化 *後藤直成(滋賀県大・環境)・岩木真穂(琵琶湖博物館)・早川和秀(琵琶湖環境科学研究センター)
P-15	新型高速フラッシュ蛍光光度法(FRRf)を用いた湖沼一次生産速度のリアルタイム測定 *風間健宏(国立環境研)・霜鳥孝一(国立環境研)・早川和秀(琵琶湖環境研セ)・今井章雄(国立環境研)・小松一弘(国立環境研)
P-16*	External phosphorus loading in North basin in Lake Biwa *LE TIEN HUU(岡山大・院・環境生命科学研究科)・大久保賢治(岡山大・院・環境生命科学研究科)
P-17	琵琶湖と流入河川水中におけるチオール類の分布 Md. Rasheduzzaman・川口舞・大塚莉菜・*丸尾雅啓(滋賀県立大・環境)・小畑元(東大・大気海洋研)
P-18	琵琶湖岸の養浜施工場所における底生動物の変動 *井上栄壮・古田世子・一瀬諭・中村光穂・池田将平・萩原裕規(滋琵琶環研セ)
P-19	【Keyword: 湖沼のアオコ、藻類】 Microcystin 分解性細菌 B-9 株の全ゲノムの解析 *金 海燕(名城大院総合学術)・西澤智康・郭 勇(茨城大院農)、西澤明人(GeneBay)・朴 虎東(信州大院環境科学)・加藤 創(東北医科薬科大)・辻 清美(神奈川衛研)・原田健一(名城大院総合学術・薬)
P-20	諏訪湖における糸状緑藻 <i>Mougeotia</i> 属の増殖特性 *二木功子(信州大・理)宮原 裕一(信州大山岳科学研究所)朴 虎東(信州大・理)
P-21*	水草ヒシ <i>Trapa japonica</i> の枯葉からの 湖水中への ポリフェノールの抽出 *土屋俊雄(信州大・院)船山 啓・丸山あい・朴 虎東(信州大・理)
P-22*	光触媒 TiO₂を用いたアオコ毒素と細胞の除去 *古平信濃(信州大・院)藤本歩玖・朴虎東(信州大・理)
P-23*	湖底堆積物中のアオコ毒 microcystin 定量方法の試み *北澤太郎・出口博之・全逢錫・朴虎東(信州大・理)
P-24	ダム建設予定地下流の河川に優先する糸状藻類の季節変化 *相子伸之・山本義彦・近藤美麻・小田優花・山口翔吾・内藤馨(大阪府立環境農林水産総合研究所)
P-25*	輝北ダムにおけるアオコの発生状況 *曹 磊・奥西将之・吉川 毅・前田広人(鹿児島大・水産)・松山貴幸(曾於南部土地改良区)

発表番号	ポスター会場②(1階北側玄関前) ポスター発表(ポスター賞審査対象含む)
P-26	【Keyword: 動物プランクトン】 ミジンコの成長と再生産に対する微生物群の餌としての影響 *永田貴丸(滋賀県琵琶湖環境科学研究センター)・廣瀬佳則(滋賀県琵琶湖環境部)・岡本高弘・早川和秀(滋賀県琵琶湖環境科学研究センター)
P-27*	淡水棲マミズクラゲの生態と形態 *中野夏海・角谷正朝・川島牧・裏山悟司・永淵昭良・小林千余子(奈良県立医科大学・医・生物)
P-28*	湖沼形成期からの富栄養化過程とそれに伴う枝角類群集の長期変動: 年縞堆積物と生物遺骸を用いた検証 *大竹裕里恵(東大・総合文化)・大槻朝・占部城太郎(東北大・生命)・木村成子(滋賀県大・環境)・山田和芳(ふじのくに地球環境史ミュージアム)・八木明彦(愛知工大・工)・吉田丈人(東大・総合文化、地球研)
P-29*	【Keyword: 水生生物と有機物】 季節的な溶存酸素供給の変動に対する微生物有機物分解速度の応答 *岡英里奈・瀬戸蘭美(奈良女大・理)
P-30*	Rotifer community successions under different TOC and DOM characteristics *Hye-Ji Oh, Mei-Yan Jin, Jong-Min Oh, Kwang-Hyeon Chang, Gui-Sook Nam, Kwang-Seok Jeong (Kyung Hee University)
P-31	中国・山西省と日本における河川環境と水生生物の比較 *木持謙・渡邊圭司・王効拳・田中仁志(埼玉県・環科国セ)・袁進・李超・恵曉梅(山西省・生環研セ)・山田一裕(東北工業大)
P-32	中国山西省における水生生物の水質指標化に向けたBODの簡易測定 *田中仁志・木持謙・渡邊圭司・王効拳(埼玉県・環科国セ)・袁進・李超・喬曉榮・恵曉梅・齊朔風(山西省生環研中心)・山田一裕(東北工大・工)
P-33	BODとCODによる有機汚濁評価 Adelia Anju Asmara・小川竜平・加藤幹也・米倉佑・*戸田三津夫(静岡大・工)
P-34*	児島湖における溶存有機物の季節変化 *中村榛那・石坪佳祐・久保洋人(岡山理科大・理)・藤田和男・小川知也(岡山県環境保健センター環境科学部水質科)・杉山裕子(岡山理科大・理)
P-35*	岡山城内堀に溶存する有機物濃度の変化について *田中志穂・東江友利菜・和田祐輝・土居愛美・斎藤達昭・杉山裕子(岡山理科大・理)

発表番号	P-36~41, 45~47; ポスター会場②(1階北側玄関前) P-42~44; ポスター会場①(1階正面玄関前) ポスター発表(ポスター賞審査対象含む)
P-36*	【Keyword: 水生生物と有機物】 ステロールの組成変化からみた水月湖の歴史的変遷 *中国正寿・北野純一(創価大・理工)・上村 仁(神奈川県・衛生研究所)・ 山本 修一(創価大・理工)
P-37*	第四紀後期バイカル湖内への有機物の流入の変化と気候 *竹原景子・中国正寿(創価大・理工)・山本修一(創価大・理工)
P-38*	【Keyword: 河川・湖沼の魚類と環境】 奈良県布目ダム及び布目川に生息するチャネルキャットフィッシュの食性 *小林誠・河内香織(近畿大学・農)
P-39*	天竜川(静岡県浜松市)のアユ餌資源の改善―付着藻類群集の現状と河床清掃実験― *岡田真衣(中部大院・応生)・喜多村雄一(電源開発茅ヶ崎研究所)・村上哲生 (中部大・応生)
P-40	沿岸河川におけるウキゴリ属魚類の餌資源利用 *満尾世志人・岸本圭子(新潟大・自然再生セ)
P-41*	旭川に生息するアカザ(<i>Liobagrus reini</i>)の地域個体群の分布と生息環境及び ミトコンドリアハプロタイプ解析 *幸 竜二(岡山理大院・総合理学)・河良理一・齋藤達昭(岡山理大・理)
P-42	【Keyword: 水生生物と放射性物質・同位体】 Mg isotopes reveal bedrock impacts on stream organisms *Nitzsche, Kai Nils・Kato, Yoshikazu・Shin, Ki-Cheol・Tayasu, Ichiro (RIHN)
P-43	津屋川におけるストロンチウム同位体比の流程変化 札本 果(京大・生態研センター)・*陀安一郎・申基澈(総合地球環境学研 究所)・森誠一(岐阜経済大・地域連携推進センター)
P-44	ヒゲナガカワトビケラ属の各成長段階における放射性セシウム(Cs-137)濃度の遷移 *佐藤 翔・藤野 毅(埼玉大学・理工)
P-45*	【Keyword: 河川の一次生産】 広島県太田川流域における造網型トビケラと環境との関係 *中村虎之介・河合幸一郎(広島大学・生物圏)
P-46	矢作川の河床における一次生産力の流程変化 *内田朝子(豊田市矢作川研究所)野崎健太郎(椋山女学園大・教育)・ 山田佳裕(香川大・農)
P-47*	水酸化鉄沈殿の非光合成的な餌資源としての可能性 *建石有稀・楊宗興(東京農工大・院・農)

第3日目（10月7日 日曜日） 午後（13：00～14：30）

P-O*：審査対象

発表番号	P-48; ポスター会場②（1階北側玄関前） P-49,50; ポスター会場①（1階正面玄関前） ポスター発表（ポスター賞審査対象含む）
P-48*	中池見湿地（福井県敦賀市）に人の不注意で生じた池の陸水学的性状 *久野良治（中部大院・応生）・村上哲生（中部大・応生） 【Keyword：湖沼沿岸帯・ヨシ帯の底質と水質】
P-49	山中湖（平野ワンド）の底質が水質に与える影響 *長谷川裕弥・吉澤一家（山梨衛環研）
P-50	フルボ酸鉄シリカ資材設置によるヨシ帯土壌の砂質化および生物相の変化 *上野 薫・東 優汰・本田由佳子（中部大・応生）・ 坂野一博（NPO 法人 藤前干潟クリーン大作戦）

第3日目（10月7日 日曜日） 午後

開始時間	A 会場 （環境理工学部 104 講義室） 課題講演 T-7「気候変動が陸水域・湿原生態系に及ぼす影響」
	コンビーナー：野原精一（国立環境研究所）・廣田充（筑波大学）
14:30	3A10 尾瀬にも及んでいる気候変動の影響 *岩熊敏夫（北海道大学名誉教授）
14:45	3A11 尾瀬ヶ原の地形と陸水環境の変遷－池塘に対する洪水の影響－ *野原精一（国立環境研究所）・福原晴夫（河北潟湖沼研究所）・千賀有希子（東邦大学）
15:00	3A12 尾瀬ヶ原上田代・中田代池塘の表層堆積物の性状と灰分量 *福原晴夫（河北潟湖沼研究所）・永坂正夫（金沢星稜大学）・千賀有希子（東邦大学）・野原精一（国立環境研究所）
15:15	3A13 尾瀬ヶ原池塘の水生植物の分布 *永坂正夫（金沢星稜大学）・福原晴夫（河北潟湖沼研究所）・藤原英史（ドキュメンタリーチャンネル）・千賀有希子（東邦大学）・野原精一（国立環境研究所）
15:30	総合討論 尾瀬ヶ原の地形と陸水環境の変遷－池塘に対する洪水の影響－

第3日目(10月7日 日曜日) 午後

開始時間	B会場 (環境理工学部 201 講義室) 一般講演
	【Keyword : 火山・温泉・地下水・渓流水質】
14:30	3B13 平成28年熊本地震による地下水水質の変化に関する考察 *川越保徳・濱武英・伊藤紘晃(熊本大・水循環)・古閑仁美(くまもと地下水財団)・末永雄一(パシフィックコンサル)
14:45	3B14 自然電位の地形効果と浅層地下水の水位変化の関係 *網田和宏(秋田大・理工)・田中宏尚(田中製作所)
15:00	3B15 阿蘇火山の火口湖「湯溜り」の溶存成分収支から推定される湖底下熱水活動 *大沢信二(京都大・理・地球熱学研究施設)・齋藤武士(信州大・理)・網田和宏(秋田大・理工)
15:15	3B16 北海道内の含よう素泉の分布とその特徴 *高野敬志・青柳直樹・内野栄治(北海道立衛生研究所)
15:30	3B17 大分県別府市内の温泉水に含まれる栄養塩類の挙動 *山田誠(龍谷大・経済)・杉本亮(福井県立大・生物資源)・本田尚美(福井県庁)・大沢信二(京都大学地球熱学研究施設)
15:45	3B18 安定同位体比を用いた兵庫県千種川流域における硫酸イオンおよび硝酸イオンの起源と動態の研究 *藤吉 麗・陀安一郎・藪崎志穂・原口 岳・由水千景(地球研)・大串 健一・古川文美子・伊藤真之(神戸大)・山本雄大(名古屋大)・横山 正(赤穂特別支援学校)・三橋弘宗(兵庫県立大学)
16:00	3B19 太平山・森吉山・秋田駒ヶ岳の放射状渓流群水質の方位分布特性 *海老瀬 潜一(元摂南大学理工学部)・川村裕紀(キョーワ(株))・永淵 修(福岡工大・環科研)

第3日目(10月7日 日曜日) 午後

開始時間	C会場 (環境理工学部 101 講義室) 一般講演
	【Keyword : 放射性物質】
14:30	3C09 福島河川水中の溶存態 ^{137}Cs の長期変動とその特性 *植田真司・長谷川英尚・柿内秀樹・佐藤雄飛・大塚良仁・久松俊一(環境科学技術研究所)・落合伸也(金沢大・環日本海域研究センター)
14:45	3C10 フナによる放射性セシウム濃縮係数 *石井伸昌(量研機構・放医研)・風呂田利夫(東邦大・東京湾生態系研究センター)・田上恵子(量研機構・放医研)・鏡味麻衣子(横浜国大・環境情報)・内田滋夫(量研機構・放医研)
	【Keyword : 湖沼の気候変動と水質】
15:00	3C11 2016 年夏の摩周湖の透明度低下と回復過程の追跡 *田中 敦・武内章記(国立環境研究所)・五十嵐聖貴(北海道立総合研究機構)・藤江 晋(自然公園財団)・大八木英夫(日本大学)・小林 拓(山梨大学)・深澤達矢(北海道大学)・南 尚嗣(北見工業大学)
15:15	3C12 深見池における成層期から循環期への移行期における全層貧酸素層出現の解明 *大八木麻希(四日市大・環境)・八木明彦(愛知工業大・工)
15:30	3C13 富栄養湖沼手賀沼水中からの溶存メタンの除去過程 *時枝隆之・谷口雄哉・葛西眞由子・伊波はるな(気象大学校)・中山典子・小畑元(東大大海研)
	【Keyword : ダム湖における水質】
15:45	3C14 千苅貯水池における中層曝気装置周辺の水溫鉛直構造 *藤井智康(奈良教育大・理科)・藤原建紀(京都大名誉教授)・中山恵介(神戸大大学院)・山元幸之助(神戸大大学院)・清水武俊・平木康大・大藪智久(神戸市水道局)
16:00	3C15 貯水池におけるアオコの初期発生挙動 *鮎川和泰(環境システム株式会社)・三上育英(環境システム(株))・古里栄一(鹿児島大学産学・地域共創センター)・清家泰(島根大学工学チュアリー研究センター)

第3日目（10月7日 日曜日） 午後

開始時間	D会場（環境理工学部 202 講義室） 一般講演「優秀講演賞審査対象」
14:30	3D13 琵琶湖北湖 23 地点の底泥におけるマンガン・ヒ素の空間分布と経年変化 *名取幸花・板井啓明（東京大・院理）
14:45	3D14 固相分離／濃縮－ICPMS 法による摩周湖水中の微量鉛の定量と同位体比測定－ 表層水と最深層湖水の特徴－ *和田明香里・安曇涼花・南尚嗣・坂上寛敏（北見工大）・深澤達矢（北大院環境創生）・五十嵐聖貴（道総研）・田中敦・武内章記（国環研）・藤江晋（自然公園財団）・大八木英夫（日大文理）・小林拓（山梨大生命環境）・神和夫（北大院環境化学院）
15:00	3D15 The condition of nitrogen and phosphate in coastal alluvial plain Case study: Indramayu, Indonesia * Anna Rusydi (Hiroshima University), Mitsuyo Saito (Okayama University), Seiichiro Ioka (Hirosaki University, Shin-ichi Onodera (Hiroshima University)
15:15	3D16 間隙水中での重合体ケイ酸の形成とその安定性について *朴 紫暎・杉山 雅人（京大院・人環）
15:30	3D17 Comparison of runoff simulations at different scales and evaluation suspended sediment in a small watershed using eco-hydrological model SWAT *曹 陽・小野寺真一（広島大・総）・齋藤光代（岡山大・環境生命）

第 3 日目 (10 月 7 日 日曜日) (16 : 30～18 : 00)

開始時間	A 会場 (環境理工学部 104 講義室) 授賞式及び受賞講演
16:30	田中賞授賞式および受賞講演 吉村賞授賞式および受賞講演 論文賞授賞式及び受賞講演

開始時間	岡山大学南福利施設 (ピーチユニオン 3 階カフェテリア)
18:00	懇親会
20:00	終了

開始時間	A 会場 (環境理工学部 104 講義室) 課題講演 T-4 「琵琶湖流域の栄養循環: 統合的理解を目指して」	
	コンピーナー: 奥田昇 (総合地球環境学研究所)・小野寺真一 (広島大学)・伴修平 (滋賀県立大学)	
9:00	4A01	趣旨説明 琵琶湖流域の栄養循環: 統合的理解を目指して 奥田昇 (地球研)・小野寺真一 (広島大)・伴修平 (滋賀県大)
9:15	4A02	リンを介した流域社会と湖内生態系のインタラクション *佐藤祐一 (滋賀県・琵琶研セ)・永禮英明 (岡山大・院)
9:30	4A03	琵琶湖へのリンおよび水の供給に対する地下水の役割の再評価 *小野寺真一 (広島大・総)・齋藤光代 (岡山大・環境生命)・友澤裕介 (広島大・総)・伴修平 (滋賀県立大)・奥田昇 (地球研)
9:45	4A04 *	琵琶湖東岸地下水における涵養域からの主要イオン成分寄与の推定 *友澤裕介・小野寺真一 (広島大・総)・齋藤光代 (岡山大・環境生命)・伴修平 (滋賀県立大)
10:00	4A05 *	Estimation of groundwater discharge and nutrient transport in Yasu river catchment, using SWAT model approach *王崑陽・小野寺真一 (広島大・総)・齋藤光代 (岡山大・環境生命)・奥田昇 (地球研)
10:15	4A06	河川のリン酸-酸素安定同位体比の特徴-流域間比較による検討 *井手淳一郎 (九大決断科学セ)・石田卓也・Abigail P. Cid-Andres・尾坂兼一・岩田智也・林拓矢・明石真徳・陀安一郎・Adina Paytan・奥田昇
10:30	4A07 *	冬季湛水が水田のリン動態に与える影響 *石田卓也・上原佳俊 (地球研)・浅野悟史 (琵琶研)・奥田昇 (地球研)
10:45	4A08	琵琶湖東岸に立地する内湖における物質循環に及ぼす地下水の影響 *齋藤光代 (岡山大・環境生命)・小野寺真一・友澤裕介・王崑陽 (広島大・総)・伴修平 (滋賀県立大)
11:00	4A09 *	Phosphorus dynamics in Lagoon lakes Yanagihira-ko and Hira-ko using oxygen isotopic composition of phosphate *Rong Yi・Shyhei Ban (Univ Shiga Pref)・Takuya Ishida・Tohru Ikeya・Noboru Okuda(RIHN)
11:15	4A10	室内実験による湖水の可分解性溶存有機態リンの存在量と回転率推定 *池谷透 (地球研)・易容・伴修平・丸尾雅啓 (滋賀県立大)・石田卓也・奥田昇 (地球研)
11:30	4A11	琵琶湖北湖における正リン酸の時空間分布 *刘鑫・易容・丸尾雅啓・伴修平 (滋賀県立大)
11:45	4A12 *	イオンクロマトグラフィーを用いた陸水中メチルホスホン酸の検出 *辻一真 (滋賀県立大)・小畑元 (東京大)・丸尾雅啓 (滋賀県立大)
12:00	総合討論	

第4日目（10月8日 月曜日） 午前

開始時間	B会場（環境理工学部 201 講義室） 課題講演 T-1 「次世代型生態系観測技術の湖沼生態系への適用―霞ヶ浦を例に」	
	コンビーナー：高村典子・松崎慎一郎（国立環境研究所）	
9:00	4B01	霞ヶ浦長期生物モニタリングの今後を考える *高村典子・松崎慎一郎（国環研）
9:15	4B02	メタバーコーディングによる霞ヶ浦における植物プランクトンの動態解析 *山口晴代(国環研)・片岡剛文（福井県立大学）・中川恵・河地正伸（国環研）
9:30	4B03	葉緑体 rbcL 遺伝子を用いた霞ヶ浦珪藻プランクトンの環境 DNA 解析 *辻彰洋・仲村康秀（国立科学博物館）・山口晴代・中川恵・高村典子（国環研）
9:45	4B04	動物プランクトンの DNA バーコーディングとその応用 *牧野渡（東北大）・中川恵（国環研）・永田貴丸（琵琶湖研センター）・高村典子（国環研）
10:00	4B05	メタゲノム解析を用いたワカサギの食性に関わる要因の解析 *今藤夏子・松崎慎一郎・角谷拓・山口晴代・安藤温子・中川恵（国環研）、伊藤洋（総研大）・牧野渡（東北大）・高村典子（国環研）
10:15	4B06	次世代型生態系観測の展開と活用：群集生態学から気候変動モニタリングまで *角谷拓・鈴木健大・山口晴代・松崎慎一郎（国環研）

第4日目(10月8日 月曜日) 午前

開始時間	C会場 (環境理工学部 101 講義室) 一般講演
	【Keyword : 湖沼における沈水植物・藻類】
9:00	4C01 琵琶湖南湖の2017年の沈水植物の現存量分布 *芳賀裕樹(琵琶湖博物館)・酒井陽一郎・石川可奈子(琵琶研センター)
9:15	4C02 魚群探知機による琵琶湖南湖の沈水植物の長期観測 *芳賀裕樹(琵琶湖博物館)・酒井陽一郎・石川可奈子(琵琶研センター)
9:30	4C03 水草帯と底生ラン藻帯のベントス相がくっきりと分れる *高村健二・今藤夏子(国立環境研)
9:45	4C04 湖沼における大型植物の異常繁茂に関する国内外の状況 *山室 真澄(東大・新領域)
10:00	4C05 メタロゲニウム粒子生成にかかる大型緑藻の関与について *古田世子・池田将平・一瀬諭(琵琶研セ)・池谷仁里(兵庫県立大学)・宮田直幸(秋田県立大学・生物資源科学部)
	【Keyword : 湖沼における底生生物】
10:15	4C06 底生生物群集の生産性を決める環境要因は? *石川俊之・饗庭優香(滋賀大・教育)
10:30	4C07 旧草津川河口域における底生生物の群集構造とその季節変化 特にビワカマカについて *藤野勇馬(所属なし)・石川俊之(滋賀大・教育)
10:45	4C08 琵琶湖産シジミの殻皮中の硫黄と鉄の化学状態分析 *竹本邦子(関西医大・物理)・馬場大哉(東レテクノ)・吉村真史(立命館大・SRセンター)・瀬川有香(東レリサーチセンター)・田淵雅夫(名古屋大・SR研究センター)・渡辺義夫(あいちSRセンター)・太田俊明(立命館大・SRセンター)
	【Keyword : 湖沼における物質循環】
11:00	4C09 微生物食物網を考慮した琵琶湖の物質循環の課題について *早川和秀・佐藤祐一・永田貴丸・岡本高弘・廣瀬佳則(琵琶研セ)・後藤直成(滋賀大・環境)・土屋健司・小松一弘・富岡典子・今井章雄(国環研)・中野伸一(京大・生態研)
11:15	4C10 琵琶湖南湖湖底における一時的な低酸素水塊の形成について *焦春萌・石川可奈子・酒井陽一郎(滋賀県琵琶湖環境科学研究センター)
11:30	4C11 琵琶湖とその集水域における降水に対する水位応答の推定 *岩木真穂(琵琶湖博物館)・戸田孝(琵琶湖博物館)・村岡晃次(ニュージーランド国立ワイカト大学)・焦春萌(琵琶研セ)・熊谷道夫(立命館大学)
11:45	4C12 堆積物・間隙水・湖水の分析に基づく琵琶湖北湖湖底のマンガン・ヒ素動態の解析 *板井啓明・名取幸花(東京大・院理)・中野伸一(京都大・生態研)・熊谷道夫(立命館大Σ研究セ)

第4日目(10月8日 月曜日) 午前

開始時間	D会場 (環境理工学部 202 講義室) 一般講演
9:00	【Keyword : 環境教育】 4D01 付着藻類の光合成測定袋法を応用した環境教育の実践 *岡田久子(明治大・農)・南部祐太郎(明治大院・農)・倉本宣(明治大・農)
9:15	【Keyword : 安定同位体比】 4D02 食物網の“かたち”を捉える新手法:河川生態系での実証 *加藤義和(地球研)・近藤倫生(東北大)・石川尚人(JAMSTEC)・富樫博幸(東北水研)・神松幸弘(立命館大)・吉村真由美(森林総研)・由水千景・原口岳(地球研)・長田穰(東北大)・大手信人・徳地直子(京都大)・奥田昇(地球研)・三木健(龍谷大)・陀安一郎(地球研)
9:30	4D03 外来種カワリヌマエビ属の1種と在来種ヌカエビの食性ニッチの安定同位体比解析 *鹿野秀一(東北大・東北アジア)・安野翔(仙台市)・藤本泰文(伊豆沼保全財団)
9:45	4D04 安定同位体比によるハス群落内の半水生クモの餌資源解析 *安野翔(仙台市)・藤本泰文・倉谷忠禎・嶋田哲郎(伊豆沼保全財団)・鹿野秀一(東北大・東北アジア)・菊地永祐(宮教大)
10:00	【Keyword : 水生昆虫】 4D05 水生昆虫の種判別におけるDNAマーカーの特徴 *稲井公二(大阪府立大・高等教育)・渡辺幸三(愛媛大院・理工)・加藤幹男(大阪府立大・高等教育,大阪府立大院・理学系)
10:15	4D06 千曲川中流域におけるエチゴシマトビケラの生活史と二次生産力 *平林公男(信州大・学術研究院)・崔翔気・岡田峻典(信州大院・総合理工)
10:30	4D07 榛名湖における<i>Daphnia</i>による輪虫類への抑制 *栗田秀男(群馬県自然環境調査研究会)
10:45	【Keyword : 藻類】 4D08 河川感潮域河床への海産珪藻休眠期細胞の堆積 *片野俊也・中野温美・円城寺夏実(東京海洋大院)・中島有希子・山田真知子(福岡女子大)・吉野健児(佐賀大)・横山勝英(首都大学東京)
11:00	4D09 化学生態学的アプローチによる<i>Microcystis</i>ラン藻の生活環解明(1) —β-cyclocitralの産生機構— *山下竜司(名城大院総合学術)・有井鈴江(名城大・薬)・兼井啓介(名城大・薬)・辻 清美(神奈川衛研)・富田浩嗣(愛知衛研)・原田健一(名城大院総合学術・薬)

第4日目（10月8日 月曜日） 午前

開始時間	D会場 （環境理工学部 202 講義室） 一般講演
11:15	【Keyword：陸水域生態系】 4D10 尾瀬ヶ原侵入シカのミツガシワ堀採食に伴う泥炭攪乱の池塘影響を懸念する *坂本 充（名古屋大学・滋賀県立大学）
11:30	4D11 淡水ガメの遷移：岡山平野を中心として *亀崎直樹・藤林真・砂場千奈・前川雄治（岡山理大・生地）

第4日目（10月8日 月曜日） 午後

開始時間	A会場 （環境理工学部 104 講義室） 優秀講演賞・優秀ポスター賞 授与式・総会
13:30	優秀講演賞・優秀ポスター賞 授与式
14:00	総会